

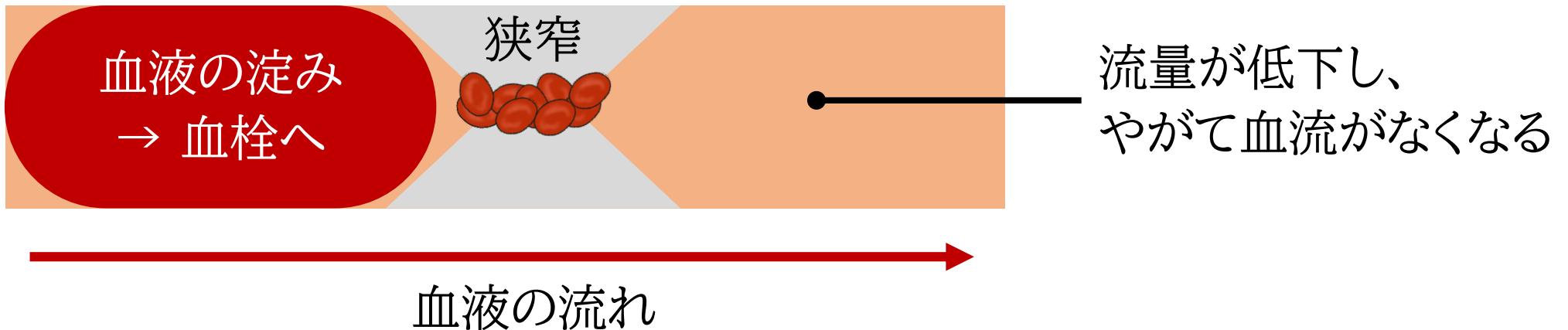
シャント閉塞

- ・シャント閉塞とは
- ・閉塞の分類
- ・側副血行路
- ・閉塞因子・徵候
- ・閉塞の対応
- ・閉塞しないように注意すること(患者側)

シャント閉塞とは

血栓形成などの原因でシャント血流が途絶え、
血液が遮断される状態

透析治療が困難になるので、早期の治療が必要



閉塞の分類

閉塞

はんこん
瘢痕化



穿刺の際にできる傷跡

血栓性
閉塞

✓ 血栓による閉塞

原因:長時間の圧迫による血流遮断

穿刺時の血腫形成 → 血栓量も多い

非血栓性
閉塞

✓ 狹窄が進行 → 血管が閉じる

✓ 血管の瘢痕化

✓ 血栓は伴わない

✓ 側副血行路の発達も多い

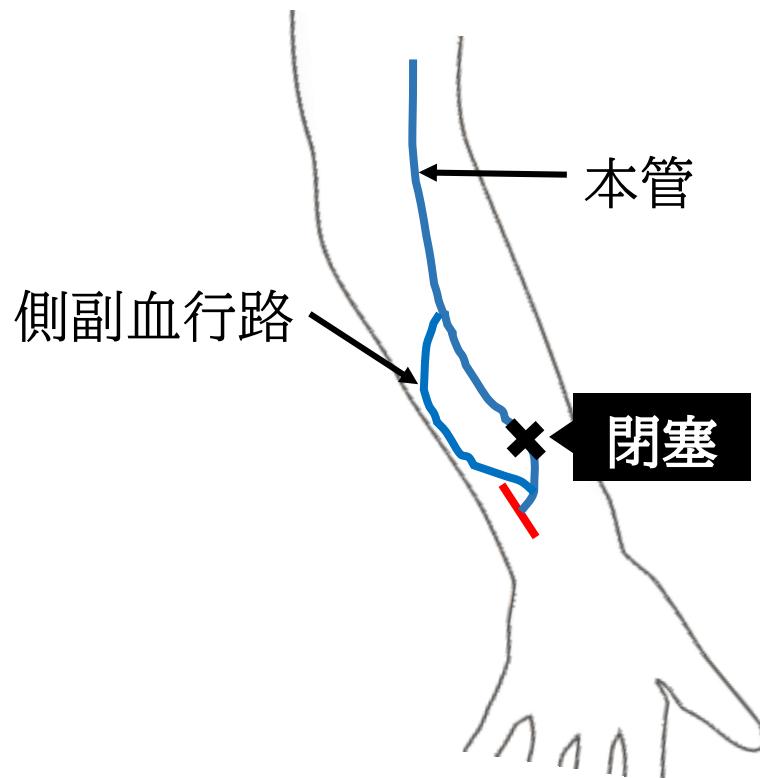


閉塞シャントのほとんどに血栓があるので、
この分類は正しいの?

側副血行路

慢性的な閉塞ではシャント本管は拍動化し、側副路には怒張がみられる

閉塞の原因のほとんどに**狭窄**が関与している



側副血行路ってなに？



血行障害により主要な血管に閉塞が見られた際に、血液循環を維持するために、**新たに自然形成される血管の迂回路**のこと

閉塞因子・徵候

狭窄以外の
閉塞因子



- ▶ 低血圧
- ▶ 脱水
- ▶ 過凝固能
- ▶ 外傷
- ▶ 穿刺部圧迫
- ▶ 感染

閉塞の徵候

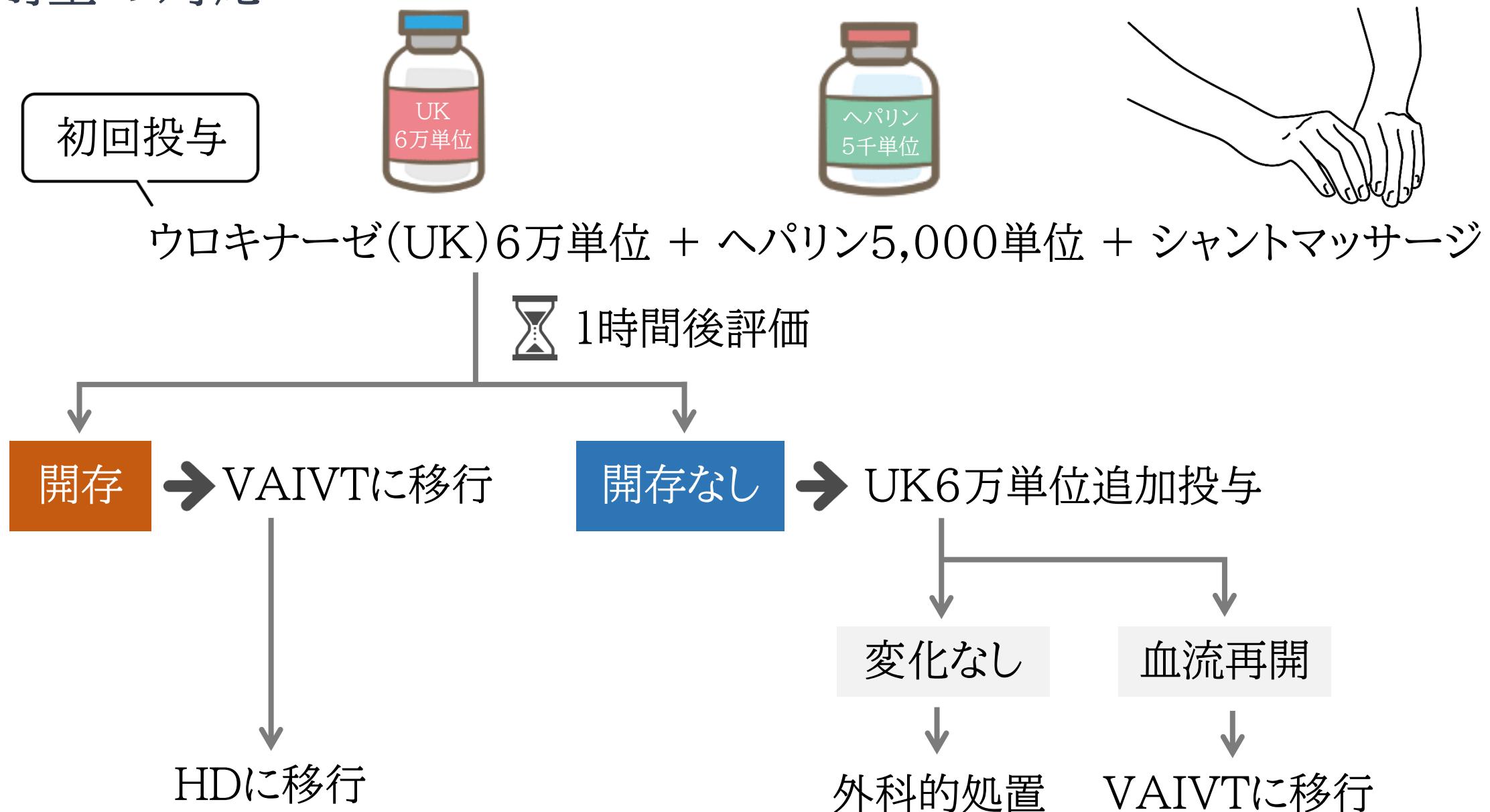


- ▶ 狹窄音
- ▶ 脱血不良
- ▶ 穿刺困難
- ▶ 止血不良
- ▶ 吻合部スリル減弱
- ▶ 狹窄部スリル増強
- ▶ 静脈圧上昇
- ▶ 再循環



高度狭窄を認めなくても、これらの要因が
加わることで閉塞する可能性がある

閉塞の対応



閉塞しないように注意すること(患者側)

シャント(特に吻合部)が圧迫されないように日常生活を気を付ける



買い物バッグ → 肩から落ちてシャント瘤に当たり、瘤破裂した例もある



手をぶつける → 吻合部は注意



腕時計 → シャント肢は避ける



血圧測定 → シャント肢を避ける



腕枕 → シャント肢を下にして寝ない